

暮老連ニュース

第159号

暮老連の目的

老人開催同好会の誰もが、活きいきと生命力を維持し“基を楽しむ”ことができるよう、機会と場所を確保するために相協力し、開催を通じて親睦をはかり、更には、より良き福祉社会に貢献することを念願する。

発行日	平成16年10月23日
発行所	八王子の基を楽しむ老人連合
住 所	久保山町1-9-3-303
TEL	(0426) 92-3973
発行人	松田 礼治
編集者	三上 靖宏

<http://www.asahi-net.or.jp/~jh8r-mtd/gororen/>

第15回 暮老連開幕大会案内

日 時 平成16年12月12日(日)受付は午前9時~9時20分
 会 場 東浅川保健福祉センター(東浅川町551-1、電話:67-1331)
 主 催 八王子の基を楽しむ老人連合(暮老連)
 後 援 八王子市、八王子市教育委員会、日本棋院
 参加資格 暮老連2段以下の会員に限る
 参加費 700円(弁当代を含む)
 競技方法 スイス方式でクラス別に行い各クラスとも3位までの入賞者に賞状を授与する
 注意事項 ①自家用車でのご参加はなるべくご遠慮下さい。
 ②失格にならないように定刻までに受付を済ませて下さい。

暮老連大会役員・競技係・受付係

大会役員

大会委員	氏名	役職	職務
委員長	松田礼治	暮老連会長	大会総括
委員長代理	養田高尾	暮老連会長補佐	大会運営全般・記録・食事湯茶関係
副委員長	小川 勇	暮老連副会長	競技委員長・諸準備責任者
〃	六本木茂	〃	〃補佐
〃	野崎健児	業務運営室長	大会運営全般
〃	豊田弘伯	暮老連副会長	受付・会計・弁当発注
実行委員	岸村 佐	業務運営室大会担当	大会諸準備
〃	池口隆久	研修部事務長	会場設営・準備・復元
〃	三上靖宏	会長委嘱	大会運営全般
〃	佐藤要吉	表彰担当	賞状作成
競技審判	山県永知	技術顧問	勝敗の決定

競技係			受付係		
氏名	所属	担当	氏名	所属	担当
網野修助	浅川	A	和田育造	浅川	A
真辺保幸	恩方	A	荒井 正	恩方	A
佐宗源治	元八王子	A	柳 保治	元八王子	A
石塚義保	中野	B	六本木茂	中野	B
石田利雄	大和田	B	豊田弘伯	大和田	B
大山芳雄	石川	C	松本健彦	石川	C
宮本忠治	由井	C	佐々木胖充	由井	C
桑原静夫	台町	C	市川公男	台町	C
穂積宏易	由木	D	竹島正義	由木	D
笠原昭次	北野	D	横藤田正	北野	D
石川義秋	長房	D	市川隆一	長房	D

第14回活きいき囲碁北野大会成績表（9月26日）

参加総人数70名

Aクラス 参加人数15名

優勝 佐木豪（5段） 6段に昇段
 準優勝 石神芳雄（6段）
 3位 山本淳三（6段）
 参加者氏名段級位

鎌倉正曠（7段）竹下利男（6段）山本淳三（6段）新保礼次（6段）石神芳雄（6段）
 藤崎 稔（6段）山本徳美（6段）山県文雄（6段）五十嵐利勝（5段）
 前川昌常（5段）中田宣久（5段）山岸伊久雄（5段）佐木豪（5段）広田桂助（5段）
 田中久勝（4段）

Bクラス 参加者人数19名

優勝 渡辺浩幸（3段） 4段に昇段
 準優勝 水野豊夫（3段）
 3位 城定 武（3段）
 参加者氏名段級位

倉田 収（4段）谷 透（4段）大河原靜（4段）山本金昭（4段）山本三好（4段）
 古賀昭也（4段）山本 林（4段）武藤至輝（4段）伊藤文一（4段）城定 武（3段）
 渡辺浩幸（3段）猪又義範（3段）加藤修司（3段）森田 実（3段）刀根正樹（3段）
 久保方宏（3段）若林近生（3段）横藤田正（3段）水野豊夫（3段）

Cクラス 参加人数20名

優勝 青木耕栄（初段） 2段に昇段
 準優勝 砂川 寛（2段）
 3位 土屋延嘉（2段）
 参加者氏名段級位

砂川 寛（2段）大瀬秀隆（2段）井出道明（2段）雨宮国暉（2段）鈴木賢一（2段）
 田中駒雄（2段）植木正芳（2段）安斎藤夫（2段）河津秀雄（2段）柳井光男（2段）

館内 茂（2段）土屋延嘉（2段）波多野博（2段）青柳一史（初段）吹上吉輝（初段）
平佐田隆（初段）佐藤吉男（初段）菊池 和（初段）若林松吉（初段）青木耕栄（初段）

Dクラス 参加者人数16名

優 勝 佐々木正人（2級） 1級に昇級

準優勝 中島正子（初段）

3 位 堀岡 正（1級）

参加者氏名段級位

中岡 誠（初段）都瑠 尚（初段）中島正子（初段）武藤喜二男（1級）田中幸治（1級）

堀岡 正（1級）佐々木正人（2級）田淵公敬（2級）甲斐正憲（2級）安斉 弘（3級）

久保よし江（4級）安達三郎（4級）山野井淳（4級）井上賛治（5級）尾崎尚敏（1級）

大沢健悟（6級）

第14回活きいき囲碁長房大会成績表（10月10日）

参加総人数42名

Aクラス 参加人数18名

優 勝 塚原和利（5段） 6段に昇段

準優勝 小川 勇（7段）

3 位 梅沢 淳（6段）

参加者氏名段級位

小川 勇（7段）関戸一郎（5段）山崎 修（4段）国澤保幸（4段）安西 実（4段）

高素信幸（5段）市川隆一（5段）梅沢 淳（6段）林 国正（5段）親松 五（5段）

塚原和利（5段）城次郎（7段）中村幸男（4段）佐藤要吉（5段）広田桂助（5段）

田中久勝（4段）

Bクラス 参加者人数19名

優 勝 渡辺浩幸（3段） 4段に昇段

準優勝 水野豊夫（3段）

3 位 城定 武（3段）

参加者氏名段級位

倉田 収（4段）谷 透（4段）大河原靜（4段）山本金昭（4段）山本三好（4段）

古賀昭也（4段）山本 林（4段）武藤至輝（4段）伊藤文一（4段）城定 武（3段）

渡辺浩幸（3段）猪又義範（3段）加藤修司（3段）森田 実（3段）刀根正樹（3段）

久保方宏（3段）若林近生（3段）横藤田正（3段）水野豊夫（3段）

Cクラス 参加人数20名

優 勝 青木耕栄（初段） 2段に昇段

準優勝 砂川 寛（2段）

3 位 土屋延嘉（2段）

参加者氏名段級位

砂川 寛（2段）大瀬秀隆（2段）井出道明（2段）雨宮国藏（2段）鈴木賢一（2段）

田中駒雄（2段）植木正芳（2段）安斉藤夫（2段）河津秀雄（2段）柳井光男（2段）

館内 茂（2段）土屋延嘉（2段）波多野博（2段）青柳一史（初段）吹上吉輝（初段）

平佐田隆（初段）佐藤吉男（初段）菊池 和（初段）若林松吉（初段）青木耕栄

第26回 研修会（東浅川）大会成績表（9月18日）

参加総人数61名**Aクラス 参加人数22名**

優勝 橋本淳二（5段）

準優勝 中村幸男（4段）

3位 長島 広（3段）

4位 若林 清（3段）

参加者氏名段位

市川隆一（5段）橋本淳二（5段）清水一郎（5段）関戸一郎（5段）大河原靜（5段）

嶋田高明（4段）小笠原正顥（4段）豊田弘伯（4段）相川 彰（4段）島崎禮樹（4段）

中村幸男（4段）中島義勝（3段）山崎 稔（3段）六木木茂（3段）安藤久雄（3段）

高橋重二（3段）伊藤茂雄（3段）小造義勝（3段）長島 廣（3段）内山藤雄（3段）

岩松 清（3段）池田 悟（3段）

Bクラス 参加人数18名

優勝 宮林国夫（初段）

準優勝 田中正勝（初段）

3位 宇井 久（2段）

4位 松下和三郎（初段）

参加者氏名段位

小池英一（2段）吉田友二（2段）石田利雄（2段）宇井 久（2段）赤羽昭二（2段）

堀口 哲（2段）佐藤吉男（初段）柳 保治（初段）小峰貞雄（初段）宮林国夫（初段）

清水明一（初段）倉田 三（初段）関口信二（初段）水野常昭（初段）青木岩三（初段）

田中正勝（初段）松本福一（初段）松下和三郎（初段）

Cクラス 参加人数11名

優勝 天野 実（1級）

準優勝 石丸盛邦（1級）

3位 箕箸俊一（1級）

4位 佐瀬整敏（2級）

参加者氏名段位

植松森一（1級）石丸盛邦（1級）矢部藤昭（1級）天野 実（1級）箕箸俊一（1級）

宮川一雄（1級）和田育造（1級）武発悦子（2級）藤本淳雄（2級）佐瀬整敏（2級）

Dクラス 参加人数11名

優勝 小池国夫（3級）

準優勝 小林敏男（4級）

3位 大里 宏（3級）

4位 村井満雄（7級）

参加者氏名段位

渡辺 清（3級）石田 豊（3級）大里 宏（3級）中山 茂（3級）赤松 勝（3級）

小池国夫（3級）岡田年弘（3級）小林敏男（4級）小沢公夫（6級）村井満雄（7級）

福島 隆（8級）

団体対抗戦 (5回戦 10月17日)

恩方 10勝	五十嵐寛6段、小池晴高6段、新倉幹夫4段 五十嵐健一3段、香川 正2段、青木岩三初段
由井 8勝	山城直温7段、花井 進6段、森本 級5段 下田政男4段、吉田友二2段、古川 中2段
浅川 13勝	下重利雄5段、内田昌治5段、小黒 尚4段 岩村 佐3段、小池英一2段、上田昭雄初段
元八 5勝	佐宗源治6段、山下則文6段、三浦和人5段 長島 広3段、高橋重二3段、柳 保治初段
長房 6勝	小川 勇7段、石川義秋5段、安西 実4段 佐々木慶兆3段、齊藤吉明2段、和田利市1級
中野 12勝	清水文彦6段、浅野照明6段、橋本淳二5段 福島博隆3段、藤野誠二2段、石塚義保2段
由木 4勝	大場扶美夫7段、野崎健兒6段、岡部隆男5段 潤本康方3段、長尾和美2段、西田 誠初段
北野 14勝	山県文雄6段、広田桂助5段、山本金昭4段 若林近生3段、柳井光男2段、甲斐正憲2段
大和田 5勝	八木義光4段、岡本昭二4段、安藤久雄3段 根津秀雄2段、石田利雄2段、後藤徳夫2段
台町 13勝	三上靖宏7段、鳴崎礼樹4段、小造義勝3段 市川公雄3段、新納 稔2段、小林 實初段

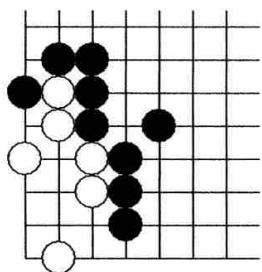
団体戦順位表

	1 5/16	2 6/13	3 7/18	4 9/5	5 10/17	計	順位
浅川	0.5	0	0	0.5	1	2	6
恩方	0	1	1	1	1	4	1
元八	1	0	1	0	0	2	6
中野	0.5	0	0.5	1	1	3	3
大和田	0	0	0	0.5	0	0.5	10
由井	1	1	1	0	0	3	3
台町	1	0	0.5	0	1	2.5	5
由木	1	1	1	1	0	4	1
北野	0	1	0	0	1	2	6
長房	0	1	0	1	0	2	6

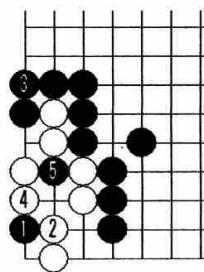
碁 樂 室

黒 158 号問題

黒先手で白をとって下さい。

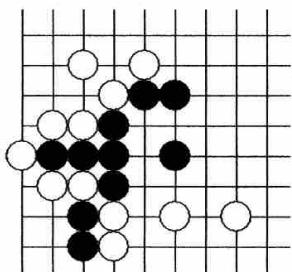


158 号詰碁解答



159号詰碁問題

黒先手で活きてください



上達考あれこれ

碁老連技術顧問 名取豊彦

私は昨年3月、40余年に及ぶサラリーマン生活にピリオドを打ち、小学校以来続いていた時間の拘束から開放され、何をしてもよし何をしなくてもよし、という「毎日が日曜日」のなんともいえない開放感に満ちた暮らしを味わっている。

退職したらあれをしよう、これをやろうと人並みに一応の計画を持っていたが、生来のズボラの故か、殆ど着手するに至らず結局長年親しみてきた囲碁に向う時間が増える結果となつた。

囲碁の良い所は色々あるが、スポーツなどと違って加齢による実力低下が殆どなく、心がけ次第で逆に上達できる可能性が残されている点であると思う。

上達といえば、碁打ちであるからにはそれを望まぬ者はない筈である。上達するにはどうしたらよいか、あるアマがプロ棋士に質問したところ「そんなものがあれいが私が知りたい」と答えられてしまったそうである。

どの世界も同じだろうが、そんな特効薬的なものはある筈がなく、恐らく学校教育と同様「基礎の反復練習」という地道な努力の積み重ねしかないのでないか。碁は、定石・布石・筋と形・死活・ヨセ等など一局の中で駆使すべき項目が広範囲で且つ奥行きが深く、一生続けて飽きない所以でもあるが、より深く楽しむためにも、やはり上達が必要である。

良き棋書を繰り返し読み、実戦は毎回でなくとも一局一時間以上かけて丁寧に打つ、こう云うことを行っていれば、必ず効果が表れてくると思うが、ここでは技術的方面とか方法論は別にして私が研修会での打碁を通して感じた点について上達の一助になればとの思いで述べてみたい。

- 「指導碁だから堅く打ちました」という方がおりますが、相手が上手だから或いは下手だからということで打ち方を変えるのは邪道であり上達の妨げとなります。

自分の力・感覚に従って素直に自分が打ちたいと思うところへ打つ、それで失敗してもそこから教訓を得ることが上達につながると考えるべきです。堅く守って勝てる相手ならば戦っても勝てる。それが碁というものです。

- 次に「勝手読み」と思われるケースが多いことです。勝手読みとは自分にとって都合の良い応手を前提とする読みですが、当の相手は欲張りで最強の手（勿論自分自身の棋力で読める範囲）を打って抵抗してくる存在であることを忘れてはいけません。碁は別名「手談」とも言いますが、お互いに相手の意図・狙いを察知することが作戦の基本であり、特に反発精神が重要とされています。

- 三点目として「石を助け過ぎる」ことが挙げられます。まだ生きていない相手の石を切断している石（要石）は1子といえども大事にしなければならないが、死活に関係ない石（地だけの意味しかない石）ならば5子（10目の地に相当）や10子でも捨ててよい場合もあります。要石と廃石の区別を見極め、石を捨てることを覚えれば新しい碁の世界が開けてきます。

余談ですが先日TVの囲碁番組を見ていて感動しました。解説役で出演していた大竹先生

が司会者から1,100勝達成のお祝いを言われたとき「負けた人の気持ちを思うと多くの人に迷惑をかけて申し訳なかったという心境です」と辛そうな表情で応じていました。気配りの人として知られ人望の厚い大竹先生ならではの言葉ですが、負かした仲間を思いやるこの優しさがあつてこそ長らくトッププロの地位を保てたのだと思います。上達して強くなるだけでなく優しくなければ碁打ちではないとの精神でお互いに余裕を持って楽しみながら精進したい者です。

平成16年度上半期（4月1日～9月30日）昇段級者

同好会名	氏名	昇段級位	氏名	昇段級位
浅川	岩津 忠孝	5段	大黒 尚	4段
	網野 修助	2級		
恩方	豊野 収	3段	長澤 勝美	2級
元八王子	三浦 和夫	4段	横山 治安	初段
中野	清水 文彦	6段	中村 靖	2段
大和田	秀島 照次	3段	中川 歳夫	2級
石川	三田村 正	5段	中村 順二	2段
台町	塙津 浩	5段	塙 雄幸	初段
由井	山口 幸男	2段		
由木	竹島 正義	5段	横田 利治	4段
	原田 実	初段	和田 幸彦	2級
北野	佐木 豪	6段	渡辺 浩幸	4段
	青木 耕栄	2段	佐々木正人	1級
長房	塙原 和利	6段	香山 黯	4段
	南 正一郎	1級		



業務運営室一編集長募集！！

是非ボランティア精神に富んだ方手を上げてください、自薦、他薦結構です。

役員会報告

1. 会場予約方法の変更

第6、7集会室の床をフローリングに改造、午後の時間帯を午後Aと午後Bに区分等、来年3月より会場確保が難しくなる。センター側と打ち合わせ格別のご配慮を頂き、基老連の通常枠は研修部使用とし、詳細の検討は研修部に任せることにしました。

2. 団体対抗戦昇段基準の検討

団体対抗戦の昇段基準を年度内ではなく、直近の期間内（移動平均的）に変更したらとの提案があった。現在、活きいき囲碁大会の昇段基準は3勝したら優勝可能と極めて甘い。団体対抗戦、活きいき囲碁大会、研修会の昇段基準等を総合的に見直す必要がある。

3. 基老連大会関係

今年から安全上の問題で2回に分けて開催、スイス方式採用と大きく変更になるので役員会で総括的に検討しました。

1) 組み合わせは基老連方式に準拠、順位付けは勝ち点法スイス方式とする。

2) 成績表、対局表のフォーマットを検討・決定しました。

3) 10月31日に競技係りに採点法等について説明会を開催する。

4) 現在寿同好会からの参加者を集計、成績表・対局表の組み合わせ等を準備中。

4. 投稿依頼

継続的に投稿を掲載するため技術顧問、(元・前・現)基老連役員、寿同好会役員等の方に開拓は勿論、写真・グッズ等の趣味、ボランティア活動等について投稿いただくようニュース担当副会長から近々お願いする事にしました。

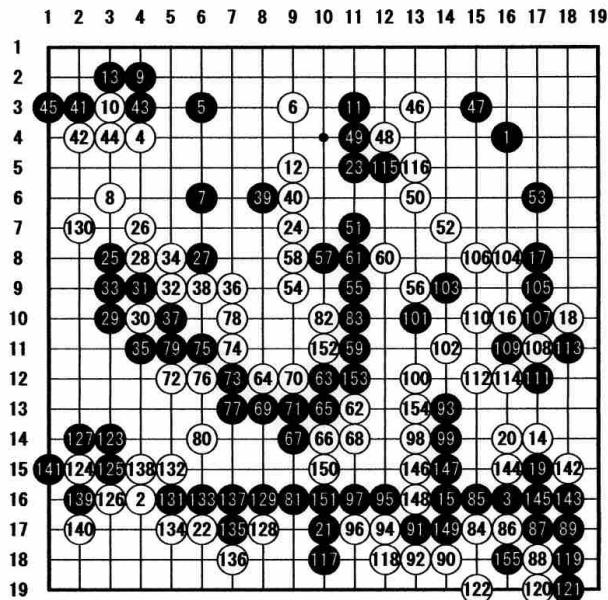
浅川小学校3年生のインタビューに協力

東浅川保健福祉センターを通して3年生国語授業の一環として「昔の遊び(竹馬、コマ)」についてインタビューしたいとの申し出があり、引き受ける事にしました。昔は読み・書き・ソロバンは所謂リテラシーで必須でしたが現在はインタビュー(話を聞く)、プレゼンテーション(発表)も重視されています。竹馬、コマをインターネットで検索、資料を準備し、10月2日に子供教室(三上チーフ)に対応して頂きました。今後もこのような依頼があれば積極的に対応していきたいと思います。

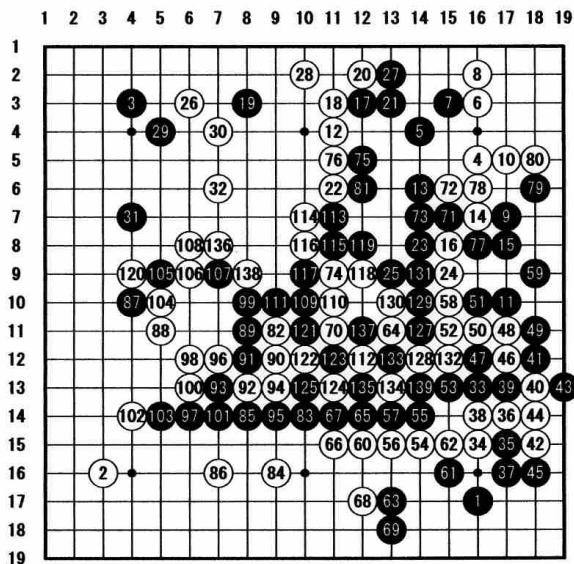
(なお余談になりますが最近情報リテラシーという事がよく言われます、WEB閲覧、メール、パソコン等は日常生活に必須という事です。)



活きいき囲碁　由木大会決勝戦
対局日：2004/09/12 結果：その他
黒番：井出貞雄 四段 白番：竹島正義 四段



東浅川研修会 囲碁大会Aクラス決勝戦 総譜(1~139)
 対局日: 2004/09/18 結果: その他
 黒番: 中村幸雄 4段 白番: 横本淳二 5段



126 [123]